

財務報告書 2022

令和 3 事業年度

令和3年4月1日～令和4年3月31日



北海道公立大学法人札幌医科大学

目次

1. 財務概要	…P1
2. 令和3事業年度財務諸表の要約	…P3
3. 過去6年間の推移	…P9
4. 財務指標（年度間比較）	…P18
5. 資料編	
(1) 貸借対照表	…P19
(2) 損益計算書	…P22

○財務概要

資産・負債・純資産の状況

「貸借対照表」は令和3年度末における財務状態を表したものです。
 「資産」は前年度比5億円増加の595億円、「負債」は前年度比2億円増加の159億円、また「純資産」は前年度比1億円増加の435億円となっています。

貸借対照表

【令和4年3月31日】

(単位：億円)

区分	2年度	3年度	増減
資産の部	590	595	5
【固定資産】	465	455	▲ 10
土地	119	119	0
① 建物等	272	262	▲ 10
備品	63	63	0
図書	9	8	▲ 1
その他固定資産	2	2	0
【流動資産】	126	140	14
② 現金・預金	51	64	13
有価証券	0	0	0
③ その他流動資産	75	76	1
資産合計	590	595	5

区分	2年度	3年度	増減
負債の部	157	159	2
④ 資産見返負債	31	35	4
借入金	15	14	▲ 1
⑤ 未払金	58	62	4
寄附金債務	11	13	2
⑥ その他負債	41	35	▲ 6
純資産の部	434	435	1
資本金	438	434	▲ 4
資本剰余金	▲ 56	▲ 60	▲ 4
⑦ 利益剰余金	51	61	10
負債・純資産合計	590	595	5

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

主な増減内容は次のとおりです。

資産の部

①建物等：262億円（10億円減少）

- ・建物等の返納による減
- ・施設整備等による増
- ・減価償却等による減

②現金・預金：64億円（13億円増加）

- ・当期総利益による増

③その他の流動資産：76億円（1億円増加）

- ・補助金未収分の増

負債の部

④資産見返負債：35億円（4億円増加）

- ・資産取得による増
- ・減価償却による減

⑤未払金：62億円（4億円増加）

- ・4月以降支払い予定の工事費、備品費等の増

⑥その他負債：35億円（6億円減少）

- ・リース料支払いによる長期未払金の減

純資産の部

⑦利益剰余金：61億円（10億円増加）

- ・当期純利益による増

費用・収益の状況

「損益計算書」は令和3年度の運営状況（経営成績）を表したものです。
 「経常費用」は前年度比12億円増加の380億円、「経常収益」は前年度比4億円増加の392億円です。
 この差額に臨時損益を加えた「当期総利益」は、前年度比1億円増加の21億円です。

損益計算書

【令和3年4月1日～令和4年3月31日】

(単位：億円)

区分	2年度	3年度	増減
①教育・研究等経費	21	24	3
②診療経費	178	183	5
受託研究・事業費	5	5	0
人件費	160	161	1
一般管理費	6	7	1
財務費用	0	0	0
経常費用	368	380	12
臨時損失	0	0	0
当期総利益	20	21	1
計	388	401	13

区分	2年度	3年度	増減
③運営費交付金収益	69	62	▲7
④附属病院収益	253	256	3
学生納付金収益	8	8	0
外部資金収益	12	11	▲1
⑤補助金収益	39	46	7
その他収益	7	8	1
経常収益	388	392	4
臨時利益	0	0	0
繰越積立金取崩	—	9	9
計	388	401	13

注) 各金額は単位未満四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

主な増減内容は次のとおりです。

経常費用

①教育・研究等経費：24億円（3億円増加）

- ・ 備品費の増
- ・ 報酬委託手数料の増

②診療経費：183億円（5億円増加）

- ・ 医療材料費の増
- ・ 検査委託費の増
- ・ 減価償却費の増

経常収益

③運営費交付金収益：62億円（7億円減少）

- ・ 運営費交付金の受入額の減

④附属病院収益：256億円（3億円増加）

- ・ 外来単価及び患者数の増に伴う
外来診療収益の増

⑤補助金収益：46億円（7億円増加）

- ・ 新型コロナウイルス関連補助金の増

○令和3年度財務諸表の要約

貸借対照表～法人の財政状態を明らかにするもの

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

(単位：百万円)

資産の部		
I	固定資産	45,455
1	有形固定資産	45,268
	土地	11,881
	建物	25,427
	構築物	782
	工具器具備品	6,300
	図書	797
	その他	81
2	無形固定資産	135
	特許権	24
	ソフトウェア	75
	その他	36
3	投資その他の資産	52
	投資有価証券	-
	未収財源措置予定額	-
	その他	52
II	流動資産	14,007
	現金及び預金	6,351
	未収学生納付金収入	1
	未収附属病院収入	4,668
	有価証券	-
	医薬品及び診療材料	581
	たな卸資産	15
	未収入金	2,375
	その他	16
	資産合計	59,462
運用状況		

負債の部		
I	固定負債	6,564
	資産見返負債	3,517 ※1)
	長期寄附金債務	419
	長期借入金	1,427
	引当金	-
	長期末払金	1,202
	資産除去債務	-
II	流動負債	9,372
	運営費交付金債務	463
	寄附金債務	1,298 ※2)
	前受受託研究費等	408
	一年以内返済長期借入金	654
	未払金	6,217 ※3)
	その他	332
	負債合計	15,936

純資産の部		
I	資本金	43,401 ※4)
II	資本剰余金	▲ 5,984 ※5)
III	利益剰余金	6,109
	前中期目標等期間繰越積立金	2,064 ※6)
	目的積立金	1,838
	積立金	155
	当期末処分利益	2,051
	純資産合計	43,526
	負債・純資産合計	59,462
調達源泉		

【流動資産】
資産のうち、1年以内に現金化されるもの

【固定資産】
業務目的を達成するために所有し、加工又は売却を予定しない財貨

【純資産】
業務実施のため与えられた財産的基礎、及び業務に関連した剰余金

【流動負債】
負債のうち、1年以内に返済または支払うもの

【固定負債】
負債のうち、1年を超える長期にわたって返済又は支払うもの

- ※1) 資産見返負債～運営費交付金、授業料、寄附金等を財源として資産を取得した場合、取得時に資産同額の負債を計上します。
当該資産の減価償却相当額を資産見返負債戻入として収益化し、収支均衡を行うための地方独立行政法人独自の勘定科目です。
- ※2) 寄附金債務～翌期以降に使用される予定で繰越される寄附金の残高です。
- ※3) 未払金～1年以内に支払予定の人件費・リース債務に係る未払金及びその他の未払金です。
- ※4) 資本金～道出資金（法人移行時に道から現物出資を受けた土地、建物等）の総額です。
- ※5) 資本剰余金～目的積立金や施設費で固定資産を取得した時、または非償却資産の取得時に、相当額を計上します。
当該資産で生じる減価償却相当額は費用化せずに、資本剰余金から直接控除（損益外減価償却）します。
- ※6) 前中期目標期間繰越積立金～前中期目標期間から繰り越しが認められた剰余金です。

損益計算書～法人の運営状況を明らかにするもの

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

(単位：百万円)

費用	経常費用	38,034	
	業務費	37,348	
	教育経費	567	
	研究経費	1,390	
	診療経費	18,327	
	教育研究支援経費	477	※1)
	受託研究費	305	
	共同研究費	36	
	受託事業費等	119	
	人件費	16,127	
一般管理費	685		
財務費用	1	※2)	
収益	経常収益	39,171	
	運営費交付金収益	6,234	
	授業料等収益	797	
	附属病院収益	25,598	
	受託研究収益	340	
	共同研究収益	49	
	受託事業等収益	200	
	寄附金収益	552	
	施設費収益	297	
	補助金収益	4,328	
	資産見返負債戻入	441	※3)
	財務収益	1	
	雑益	334	
経常利益	1,137		
臨時損失	4		
臨時利益	0		
当期純利益	1,133		
前中期目標等期間繰越積立金取崩額	919		
当期総利益	2,051		

【業務費】

- ・ 目的別に「教育」「研究」「診療」「人件費」等に分類
- ・ 「教育経費」「研究経費」等の業務費は、施設設備に係る減価償却費・保守経費を含む
- ・ 「受託研究費」「共同研究費」「受託事業費等」は、受託研究等に係る人件費を含む

【経常収益】

- ・ 「運営費交付金収益」及び「授業料等収益」は、資産を取得した分を除いた収益額
- ・ 「運営費交付金」「寄附金」等で翌期以降に使用予定の額は債務（流動負債）として翌期へ繰越

【臨時損失】

- ・ 臨時損失は、訴訟関連費用を計上

※1) 教育研究支援経費～附属総合情報センター等の大学全体の教育研究を支援する施設の運営経費です。

※2) 財務費用～附属病院にかかる借入金の支払利息

(償還利率 ㉘0.125%、㉙0.125%、㉚0.01%及び0.1%、㉛0.01%及び0.1%、㉜0.001%、㉝0.125%)

※3) 資産見返負債戻入～運営費交付金、授業料、寄附金等の財源で取得した固定資産の減価償却に伴って収益計上し、損益を均衡させます。

キャッシュ・フロー計算書～現金の出し入れを明らかにするもの

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

(単位：百万円)

I 業務活動によるキャッシュフロー	2,651
原材料、商品又はサービスの購入による支出	▲ 19,950
人件費	▲ 16,159
その他の業務支出	▲ 687
運営費交付金収入	6,472
授業料収入	650
入学金収入	73
検定料収入	14
附属病院収入	25,605
受託研究収入	406
共同研究収入	37
受託事業等収入	203
補助金等収入	4,837
補助金等の精算による返還金の支出	▲ 3
寄附金収入	780
預り科学研究費補助金等増減	36
その他収入	339
II 投資活動によるキャッシュフロー	▲ 378
有価証券の取得による支出	▲ 351
有価証券の償還による収入	351
有形固定資産の取得による支出	▲ 983
無形固定資産の取得による支出	▲ 41
定期の預入による支出	▲ 1,500
定期の払出による収入	1,500
施設費による収入	645
利息及び配当金の受領額	1
III 財務活動によるキャッシュフロー	▲ 1,034
長期借入れによる収入	533
長期借入金返済による支出	▲ 639
ファイナンスリース債務の返済による支出	▲ 927
利息の支払額	▲ 1
IV 資金に係る換算差額	-
V 資金増加額 (I + II + III + IV)	1,239
VI 資金期首残高	5,112
VII 資金期末残高 (V + VI)	6,351

【業務活動】
教育・研究・診療など通常業務に伴う資金の出入りを表すもの

業務活動による資金調達 27億円

【投資活動】
固定資産取得や売却、余裕金の運用など投資活動に伴う資金の出入りを表すもの

投資活動への資金利用 ▲4億円

【財務活動】
借入金による資金の調達や返済など財務活動に伴う資金の出入りを表すもの

財務活動への資金利用 ▲10億円

令和3年度キャッシュ増加額
12億円

注) キャッシュ・フロー計算書とは、資金の調達や運用状況を明らかにするため、一会計期間の資金の流れを「業務活動」・「投資活動」・「財務活動」の3つの区分に分けて表示し、報告するものです。

行政サービス実施コスト計算書～住民等が負担するコストを明らかにするもの

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

(単位：百万円)

I 業務費用	10,180
(1) 損益計算書上の費用	38,038
業務費	37,348
一般管理費	685
財務費用	1
臨時損失	4
(2) (控除) 自己収入等	▲ 27,858
授業料収益・入学金収益・検定料収益	▲ 797
附属病院収益	▲ 25,598
受託研究等収益	▲ 340
共同研究収益	▲ 49
受託事業等収益	▲ 200
寄附金収益	▲ 552
資産見返運営費交付金等戻入	-
資産見返寄附金戻入	▲ 93
財務収益	▲ 1
雑益	▲ 227
臨時利益	0
II 損益外減価償却相当額	1,423
III 損益外減損損失相当額	1
IV 損益外利息費用相当額	0
V 損益外除売却差額相当額	23
VI 引当外賞与増加見積額	17
VII 引当外退職給付増加見積額	▲ 1
VI 機会費用	2,438
・国又は地方公共団体の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用	2,360 ※1)
・地方公共団体出資の機会費用	78 ※2)
VII (控除) 設立団体納付金	-
VIII 行政サービス実施コスト	14,081

道からの財源で賄われているコスト

・損益計算書における費用から授業料収益や病院収益等の自己収入を差し引いたもの

(1) 損益計算書の費用：380億円

(2) (控除) 自己収入等：279億円

業務費用：102億円

損益計算書に計上されていないコスト：15億円

・道から出資された資産等の減価償却や、一部の退職手当等、制度上費用に反映されない負担相当額

免除もしくは軽減されているコスト：24億円

・道、市町村等の資産利用に関して北海道公立大学法人ゆえに優遇された相当額

行政サービス実施コスト：141億円

※1) 道、市町村等の財産の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用の計算方法：近隣の地代や賃借料を参考に計算しています。

※2) 地方公共団体出資の機会費用の計算に使用した利率：令和4年3月末における10年国債の利回り0.21%を参考に計算しています。

利益の処分に関する書類

注)各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

(単位:百万円)

I 当期末処分利益	2,051	
	当期総利益	2,051
II 利益処分類	2,051	
	目的積立金	1,751
	積立金	300

決算報告書～予算の区分による決算を明らかにするもの

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

(単位：百万円)

区 分	予算	決算	差額	備考
収入	40,587	42,029	1,442	
運営費交付金	6,831	6,831	0	
施設整備費補助金	772	763	▲ 9	(※1)
自己収入	30,384	31,775	1,391	
授業料及び入学検定料収入	815	797	▲ 18	(※2)
附属病院収入	27,217	25,598	▲ 1,619	(※3)
雑収入	2,352	5,380	3,028	(※4)
受託研究等収入及び寄附金収入等	997	1,072	75	(※5)
長期借入金収入	533	533	0	
繰越積立金取崩収入	1,070	1,056	▲ 14	(※6)
支出	40,587	39,837	▲ 750	
業務費	37,722	37,075	▲ 647	
教育研究経費	1,966	1,929	▲ 37	(※7)
診療経費	17,730	18,253	523	(※8)
人件費	17,032	16,127	▲ 905	(※9)
一般管理費	994	766	▲ 228	(※10)
施設整備費	1,151	1,300	149	(※11)
受託研究等経費及び寄附金事業費等	798	823	25	(※12)
長期借入金償還金	916	639	▲ 277	(※13)
収入－支出	-	2,193	2,193	

注) 決算報告書とは、公立大学法人等の運営の見込みである年度計画の予算と決算を対比して表すことにより、その運営状況を報告しようとするものです。官庁会計に準じ、現金主義を基礎とすつつ出納整理期の考え方を踏まえて一部発生主義を取り入れたもので、収入・支出ベースで表示しています。

- ※1) 入札結果に基づく契約確定額の減等により、予算額に比して決算額が9百万円減少しました。
- ※2) 大学院在籍者数の減に伴う授業料収入の減等により、予算額に比して決算額が18百万円減少しました。
- ※3) 入院患者減少等により、予算額に比して決算額が1,619百万円減少しました。
- ※4) 期中における補助金の獲得等により、予算額に比して決算額が3,028百万円増加しました。
- ※5) 寄附金及び受託研究の獲得に努めたことにより、予算額に比して決算額が75百万円増加しました。
- ※6) 一部事業について、繰越積立金を取崩さなかったため、予算額に比して決算額が14百万円減少しました。
- ※7) 各種経費の節減に努めたことにより、予算額に比して決算額が37百万円減少しました。
- ※8) 注4に示した理由等により、予算額に比して決算額が523百万円増加しました。
- ※9) 教職員人件費や退職手当所要額の減により、予算額に比して決算額が905百万円減少しました。
- ※10) 大学移設業務経費の減により、予算額に比して決算額が228百万円減少しました。
- ※11) 大学移設業務に伴う備品の購入等により、予算額に比して決算額が149百万円増加しました。
- ※12) 注5に示した理由等により、予算額に比して決算額25百万円増加しました。
- ※13) 北海道との協議による償還の方法、時期の見直し等により、予算額に比して決算額が277百万円減少しました。

○過去6年間の推移

財務情報一覧

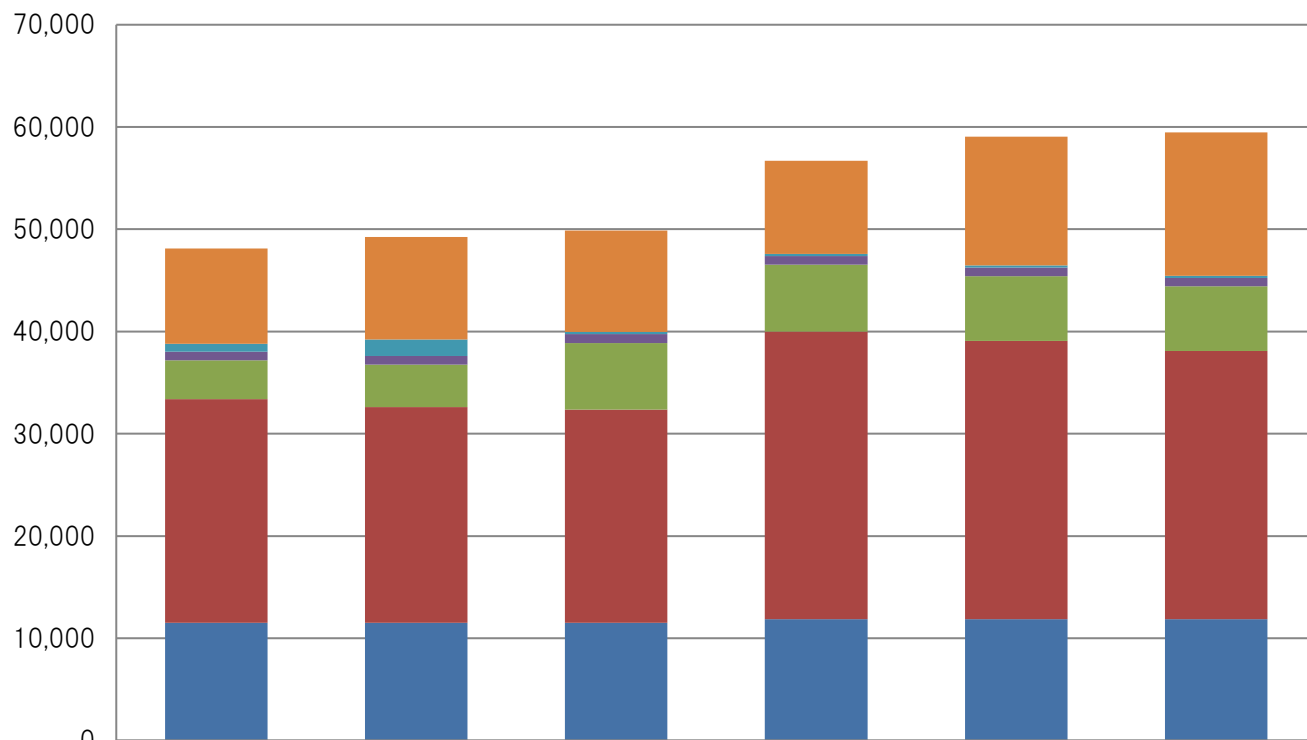
- 本学の財務情報を一覧で表示しています。
- 各項目の詳細については、それぞれのページを参照願います。

(単位：億円)

区分	情報の種類	項目等	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	ページ
資産・負債 ・純資産	年度末時点 での財務の 状況	資産	492	499	567	590	595	P10 ～ P11
		うち固定資産	392	400	476	465	455	
		負債	135	144	145	157	159	
		うち借入金	17	16	16	15	14	
		純資産	357	355	422	434	435	
費用・収益	1年間の財務 運営の状況	経常費用	335	345	360	368	380	P12 ～ P13
		うち人件費	156	156	158	160	161	
		経常収益	337	343	357	388	392	
		うち運営費交付金	62	66	65	69	62	
利益と 利益処分	利益の発生 要因	当期総利益	1	5	▲1	20	21	P14
		目的積立金	1	-	-	18	17	
		繰越積立金	-	-	▲1	-	-	
		積立金	-	5	-	2	3	
附属病院 業務損益	附属病院の 1年間の財務 運営状況	業務費用	249	260	276	283	292	P15
		業務収益	249	257	272	301	303	
		業務利益	0	▲3	▲4	17	11	
キャッシュ ・フロー	資金の流れ (活動ごとの 現金の収入 と支出の差)	業務活動	15	14	11	39	27	P16
		投資活動	▲9	▲11	▲7	▲12	▲4	
		財務活動	▲3	▲8	▲9	▲9	▲10	
		資金期末残高	43	38	33	51	64	
業務実施 コスト	本学への 住民負担	実施コスト	93	112	99	123	141	P17

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

資産

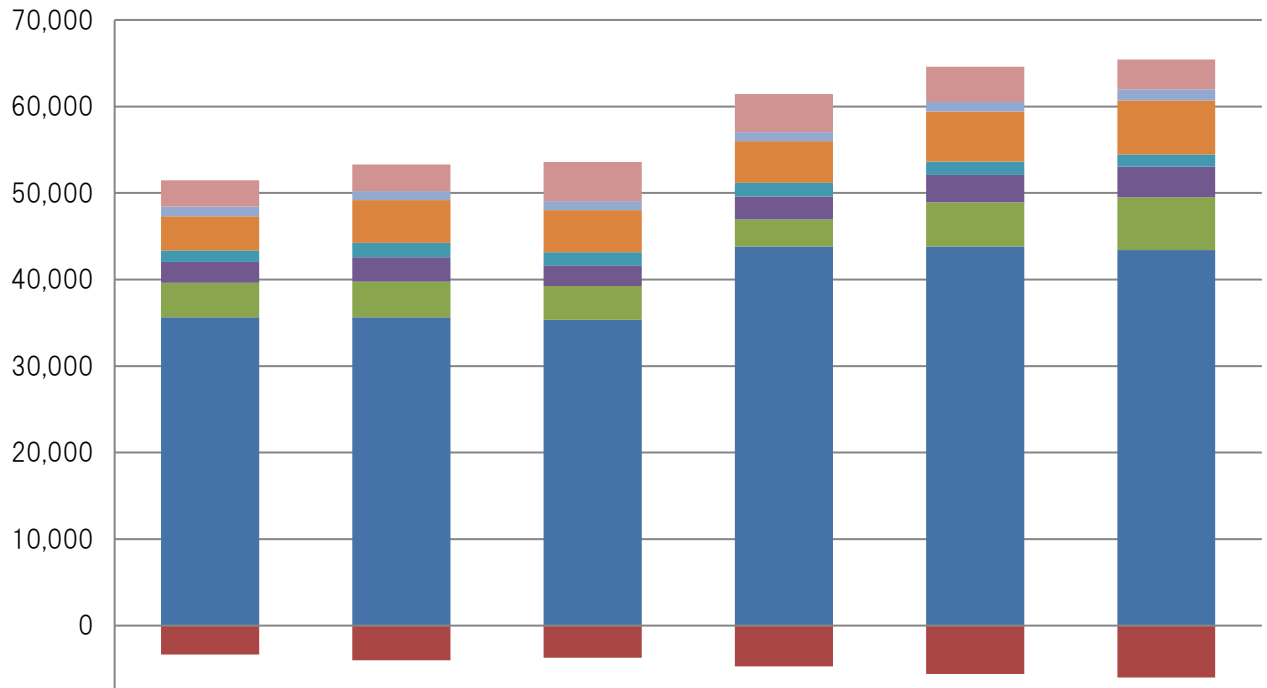


	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
流動資産	9,343	10,032	9,921	9,107	12,571	14,007
その他	753	1,623	224	211	223	231
図書	843	850	854	857	833	797
設備	3,818	4,138	6,509	6,524	6,327	6,337
建物	21,839	21,071	20,839	28,130	27,202	26,209
土地	11,535	11,535	11,535	11,881	11,881	11,881

(単位：百万円)

区分	3年度	構成比	資産説明	前年度との比較	
				増減	特記事項
流動資産	流動資産	23.6%	・ 現預金、有価証券（1年以内） ・ 未収附属病院収入 ・ 未収学生納付金収入 ・ 病院医薬品在庫	1,436	・ 現預金増1,239 ・ 未収附属病院収入の減▲18 ・ 病院医薬品等の在庫減▲24 ・ 補助金未収入金増235
固定資産	図書等	その他	・ 建設仮勘定 ・ 特許権 ・ 長期貸付金	8	・ 無形固定資産等の増12
		図書	・ 書籍 ・ CD-ROM ・ 雑誌（製本済みのもの）	▲ 36	・ 図書取得による増5 ・ 図書除却による減▲41
	設備建物	設備	・ 実験、診療器具 ・ 車両運搬具	10	・ 新規取得等による増1,329 ・ 減価償却費による減▲1,356 ・ 車両取得による増36
		建物	・ 校舎、研究所 ・ 病院 ・ 宿舎、学生寮 ・ ファミリーハウス	▲ 993	・ 建物の返納による減▲440 ・ 施設整備等による増350 ・ 減価償却費による減▲933
	土地	土地	・ 上記の敷地 ・ グラウンド	0	

負債・純資産

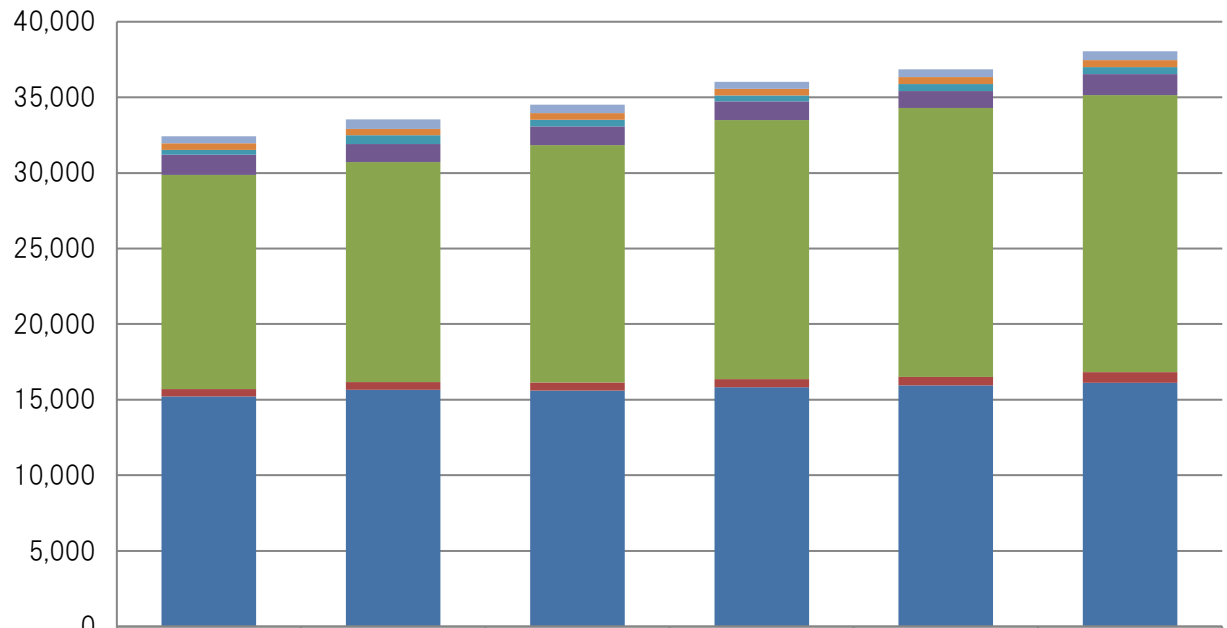


	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
▲ 10,000						
■ その他債務	3,032	3,048	4,541	4,426	4,097	3,477
■ 寄附金債務	1,107	1,066	1,053	1,028	1,107	1,298
■ 未払金	3,979	4,945	4,837	4,805	5,780	6,217
■ 借入金	1,300	1,659	1,583	1,608	1,549	1,427
■ 資産見返負債	2,426	2,821	2,334	2,632	3,136	3,517
■ 利益剰余金	3,982	4,105	3,922	3,120	5,113	6,109
■ 資本剰余金	▲ 3,330	▲ 4,029	▲ 3,716	▲ 4,735	▲ 5,571	▲ 5,984
■ 資本金	35,635	35,635	35,328	43,825	43,825	43,401

(単位：百万円)

区分	3年度	構成比	負債・純資産説明	前年度との比較	
				増減	特記事項
負債	その他債務	5.8%	・繰越して使用予定の交付金 ・繰越して使用予定の受託研究費 ・預り科学研究費補助金等	▲ 620	・長期未払金の減▲791 ・運営費交付金債務の増101 ・受託等債務の増64
	寄附金債務	2.2%	・繰越して使用予定の寄附金	191	・寄附金債務の増191
	未払金	10.5%	・令和3年4月支払の経費	437	・4月以降支払予定の未払金 (工事、工事器具備品等)の増437
	借入金	2.4%	・大学病院の借入金残高 (機器整備)	▲ 122	・借入金返済による減▲122
	資産見返負債	5.9%	・建築設備取得に使用した交付金、 授業料、寄附金の減価償却費を 除いた残高	381	・資産取得による増844 ・減価償却による減▲395
純資産	利益剰余金	10.3%	・繰越積立金(第1・2期分) ・未処分利益(当期総利益)	996	・当期総利益2,051 ・繰越積立金取崩▲1,055
	資本剰余金	▲ 10.1%	・施設費や目的積立金による固定 資産の取得額 ・当期の損益外減価償却累計額	▲ 413	・施設整備等による増618 ・減価償却費等の増▲1,423 ・建物返納等に伴う 減価償却累計額の減480
	資本金	73.0%	・法人移行時に道から土地・建物 等の現物で受けた出資金	▲ 424	・建物返納による減▲424

経常費用

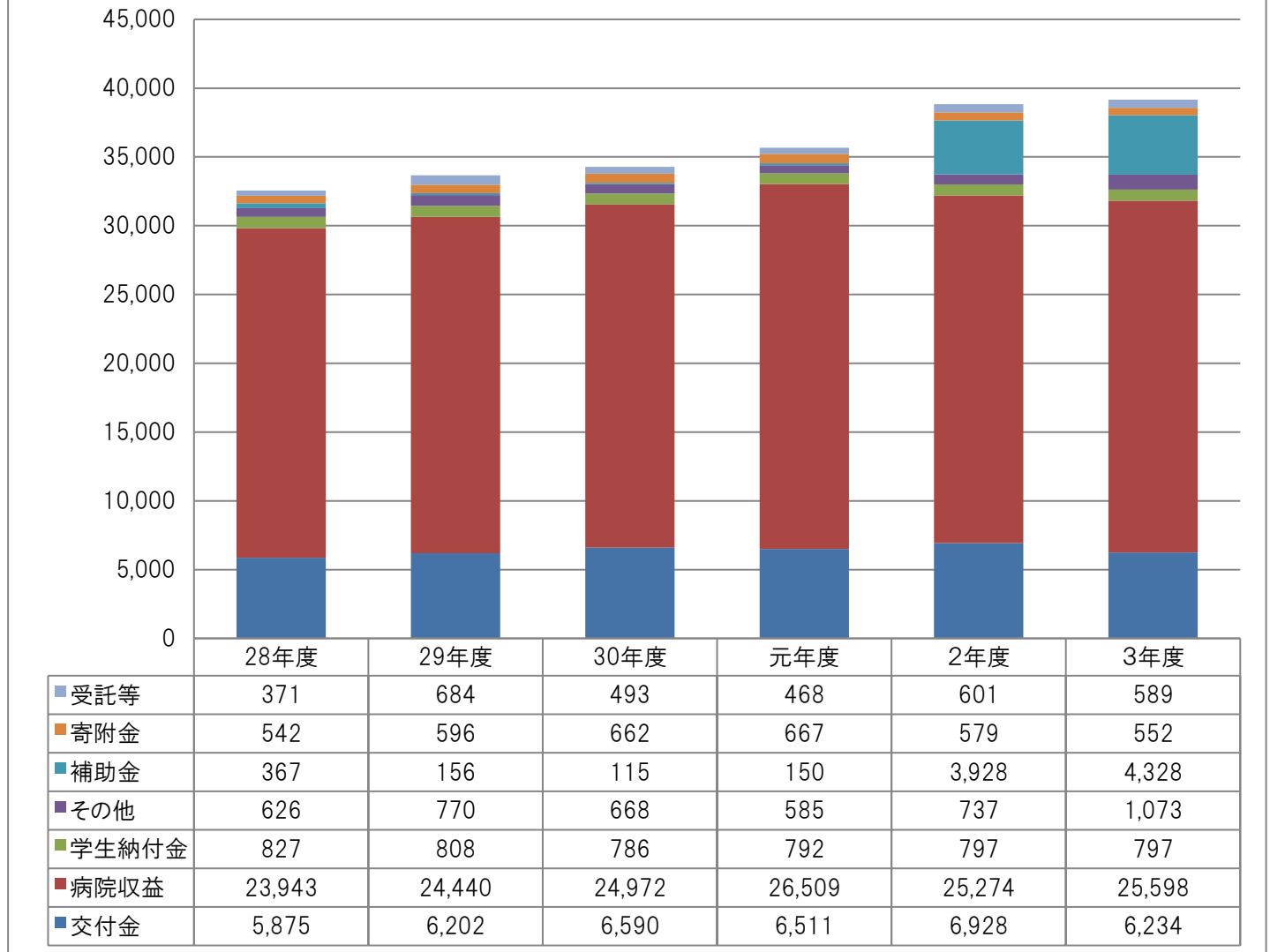


区分	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
■教育経費	464	619	571	457	512	567
■教育研究支援経費	430	421	441	428	457	477
■受託研究費等	326	571	437	405	450	460
■研究経費	1,334	1,207	1,242	1,237	1,139	1,390
■診療経費	14,175	14,553	15,682	17,120	17,776	18,327
■一般管理費等	481	513	536	554	556	685
■人件費	15,215	15,646	15,615	15,817	15,956	16,127

(単位: 百万円)

区分	3年度	構成比	費用説明	前年度との比較	
				増減	特記事項
教育	教育経費	1.5%	・学生に対し行われる教育に要する経費	55	・庁舎設備保守点検費等の増43
	教育研究支援経費	1.4%	・附属総合情報センター(図書館含む)に要する経費	20	・図書除却費の増12 ・報酬・委託・手数料の増9
研究	受託研究等	1.2%	・外部から委託を受けて行う受託研究 ・民間等からの研究者及び研究費を受入、共同で行う研究	10	・受託事業消耗品費の増等11
	研究経費	3.7%	・研究に要する経費	251	・動物実験施設備品購入の増110 ・実施許諾料収入に係る補償金の増45 ・庁舎設備保守点検費等の増51
診療	診療経費	48.2%	・大学病院における診療の実施に要する経費	552	・医薬材料費の増87 ・検査等委託費の増135 ・減価償却費の増119 ・消耗品費の増69 ・報酬・委託・手数料の増107
管理運営	一般管理費等	1.8%	・管理運営に要する経費 ・財務費用	129	・大学管理棟、教育研究棟移設による経費増136
	人件費	42.4%	・一般運営財源、寄附金、補助金を財源とする給与等(受託に係る人件費は含まない)	171	・退職者減による退職手当減▲47 ・コロナ対応等人員増219

経常収益



(単位：百万円)

区分	3年度	構成比	収益説明	前年度との比較	
				増減	特記事項
外部資金	受託等	1.5%	・ 受託研究 ・ 受託事業 ・ 共同研究	▲ 12	・ 受託研究等の収益化額の減▲12
	寄附金	1.4%	・ 奨学寄附金 ・ 寄附講座	▲ 27	・ 寄附金事業の収益化額の減▲27
	補助金	11.0%	・ 国、道等からの補助金収益	400	・ 新型コロナウイルス関連補助金の増455
その他	その他	2.7%	・ 研究関連収入（間接経費） ・ 財産貸付料収入 ・ 資産見返負債戻入 ・ 受取利息	336	・ 施設費収益の増271 ・ 雑益の減▲49 ・ 資産見返負債戻入の増113
学納金	学生納付金	2.0%	・ 授業料 ・ 入学料 ・ 検定料	0	
診療	病院収益	65.3%	・ 附属病院収入（外来・入院）	324	・ 入院診療収益の減▲493 ・ 外来診療収益の増803 ・ 文書料収益の増13
交付金	運営費交付金	15.9%	・ 運営費交付金収入	▲ 694	・ 受入額の減等▲694

利益と利益処分の推移

(単位：百万円)

区分	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
経常収益	32,551	33,656	34,285	35,682	38,843	39,171
経常費用	32,426	33,531	34,528	36,021	36,847	38,034
経常利益	125	126	▲ 242	▲ 339	1,996	1,137
臨時損益	▲ 116	▲ 3	438	▲ 3	▲ 3	▲ 4
目的積立金取崩	0	0	0	0	0	0
繰越積立金取崩	0	0	276	199	0	919
当期総利益	9	122	472	▲ 143	1,993	2,051

当期総利益の内訳

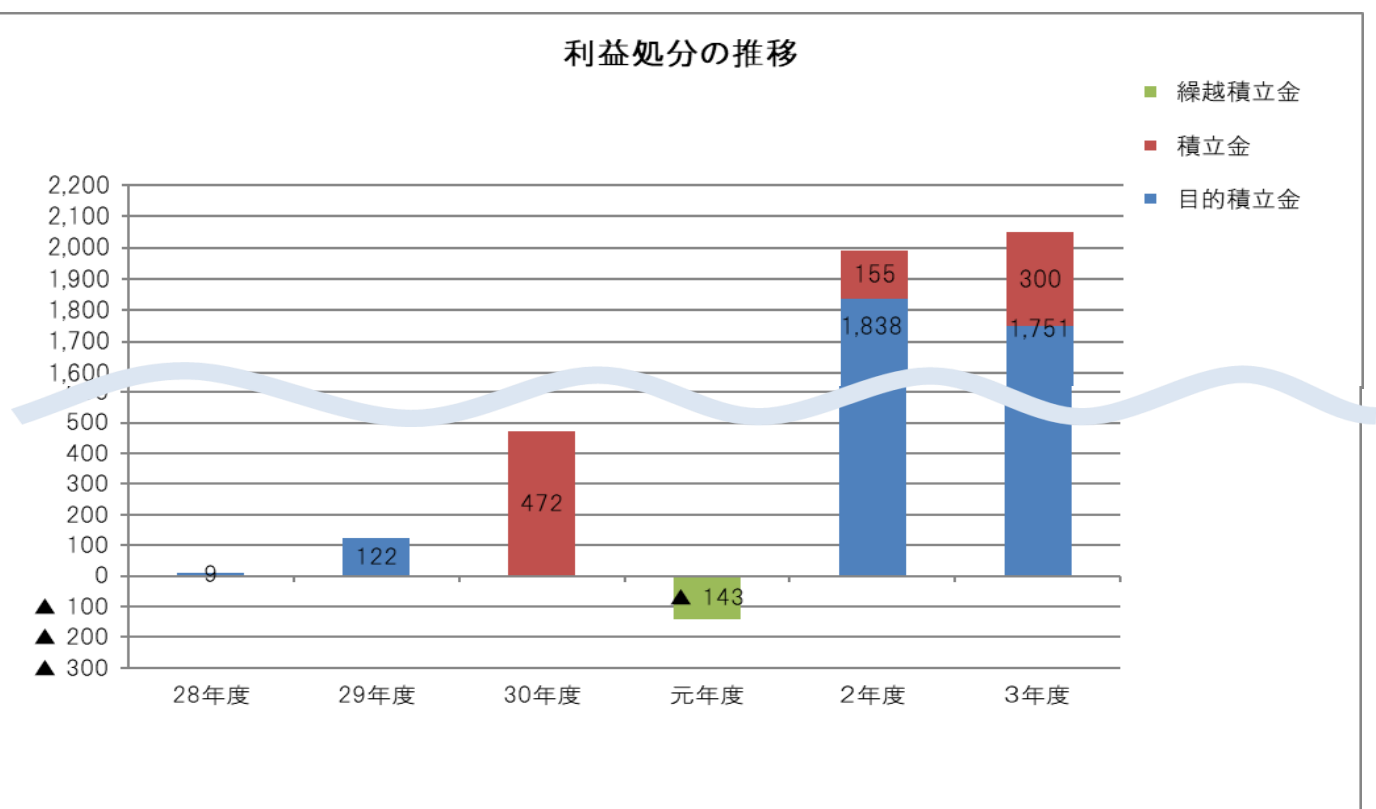
(単位：百万円)

区分	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
目的積立金	9	122	-	-	1,838	1,751
繰越積立金	-	-	-	▲ 143	-	-
積立金	-	-	472	-	155	300

経常利益は、損益計算書に計上している経常収益と経常費用の差額です。

当期総利益は、経常利益に固定資産除却損等の臨時損益と目的・繰越積立金取崩を加えた利益であり、目的積立金と積立金に利益処分されます。

利益処分の推移



3年度	利益処分	利益処分の発生要因等
当期総利益 2,051百万円	目的積立金 1,751	・ 各種収益増及び経費削減により生じる、現金の裏付けのある利益
	積立金 300	・ 減価償却などの会計処理により生じる、現金の裏付けのない利益

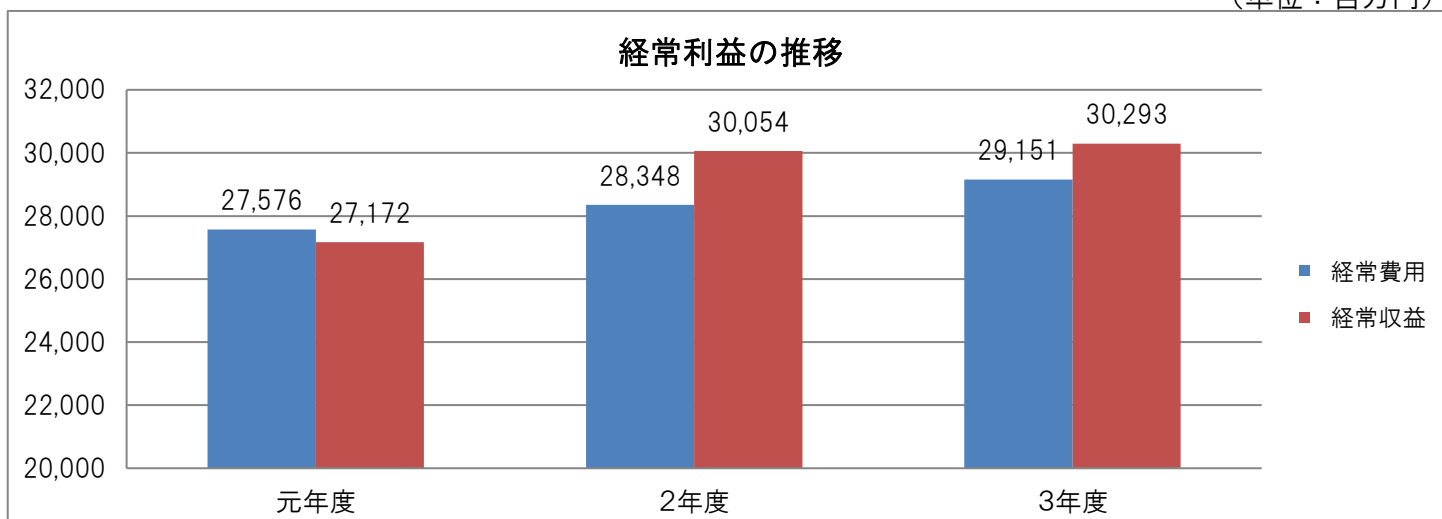
附属病院経常損益の推移

(単位：百万円)

区分	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
経常費用	24,334	24,943	26,050	27,576	28,348	29,151
経常収益	24,300	24,918	25,668	27,172	30,054	30,293
経常利益	▲ 34	▲ 25	▲ 382	▲ 404	1,706	1,142

注) 各金額は単位未満を四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

(単位：百万円)



【経常費用】

(単位：百万円)

3年度		経常費用説明	前年度との比較	
区分	金額		増減	特記事項
その他	72	・受託研究費、受託事業費 ・財務費用	▲ 15	・受託研究費等の減▲14
	0.2%			
人件費	10,751	・臨床系教員 ・医員、研修医 ・看護師、技師、事務職員	267	・退職手当の増23 ・新型コロナウイルス対応等に伴う人員増219
	36.9%			
診療経費	18,327	・診療の実施に要する経費 (医薬品、診療材料、医療 消耗品器具費、委託費、 減価償却費、修繕費、 機器保守費、水道光熱費 等経費)	551	・医薬材料費の増87 ・検査等委託費の増135 ・減価償却費の増119 ・消耗品費の増69 ・報酬・委託・手数料の増107
	62.9%			

【経常収益】

(単位：百万円)

3年度		経常収益説明	前年度との比較	
区分	金額		増減	特記事項
その他	4,695	・受託研究、寄附金等の 外部資金収益 ・資産見返負債戻入等	496	・新型コロナウイルス関連補助金の増455
	15.5%			
病院運営 費交付金 収益	0	・附属病院に係る交付金	▲ 581	・運営費交付金の受入額の減等▲581
	0.0%			
病院収益	25,598	・外来収益 ・入院収益 ・文書料	324	・入院診療収益減▲493 (患者数：200,362人、単価：89,672円) ・外来診療収益増803 (患者数：370,020人、単価：20,389円)
	84.5%			

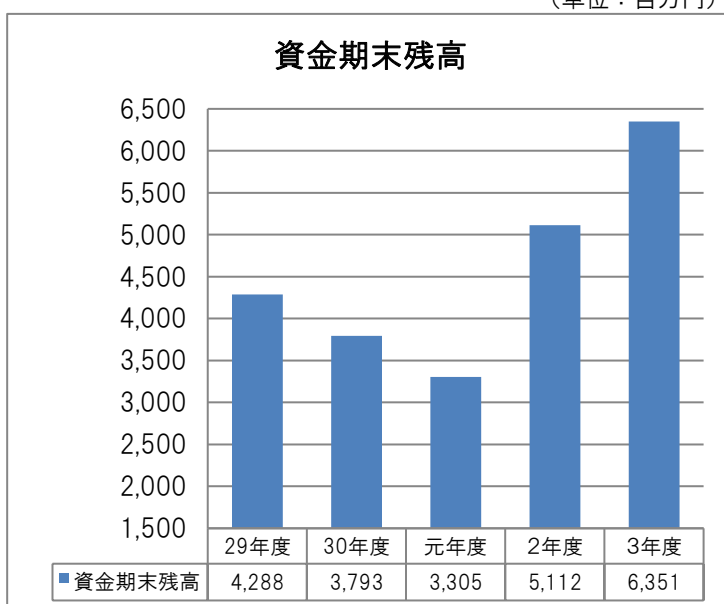
キャッシュ・フローの推移

(単位：百万円)

表示区分	説明	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
①業務活動による キャッシュ・フロー	通常の業務活動（投資・財務活動以外）の取引に係る収入と支出の差額	1,193	1,454	1,381	1,137	3,917	2,651
	(収入) 運営費交付金、附属病院収入、授業料、受託研究等、寄附金	32,300	32,854	34,308	35,666	38,451	39,447
	(支出) 人件費支出、原材料・商品・サービス購入による支出	▲ 31,106	▲ 31,400	▲ 32,928	▲ 34,529	▲ 34,534	▲ 36,796
②投資活動による キャッシュ・フロー	資産の取得及び売却等の取引に係る収入と支出の差額	▲ 642	▲ 935	▲ 1,105	▲ 760	▲ 1,163	▲ 378
	固定資産の取得及び売却の取引	▲ 643	▲ 936	▲ 1,107	▲ 761	▲ 1,163	▲ 379
	(収入) 施設費による収入、資産売却による収入	585	586	1,093	681	372	645
	(支出) 建物・設備の取得、除却	▲ 1,227	▲ 1,522	▲ 2,201	▲ 1,442	▲ 1,535	▲ 1,024
	投資資産の取得及び売却の取引	1	1	2	1	1	1
	(収入) 定期預金の払戻、有価証券の償還	4,887	1,868	1,859	1,849	1,348	1,852
	(支出) 定期預金・有価証券の取得	▲ 4,886	▲ 1,867	▲ 1,857	▲ 1,848	▲ 1,347	▲ 1,851
③財務活動による キャッシュ・フロー	資金調達及び返済の取引に係る収入と支出の差額	▲ 612	▲ 277	▲ 771	▲ 863	▲ 948	▲ 1,034
	(収入) 長期借入による収入	520	879	534	634	580	533
	(支出) 借入金の返済、利息の支払、ファイナンスリース債務の返済	▲ 1,132	▲ 1,156	▲ 1,300	▲ 1,497	▲ 1,528	▲ 1,567
④資金増減額	当期中の現預金（拘束性のない手元現金・当座預金・普通預金）増減額	▲ 60	242	▲ 495	▲ 487	1,806	1,239
⑤資金期首残高	前期末現預金残高	4,106	4,046	4,288	3,793	3,306	5,112
⑥資金期末残高	当期末現預金残高	4,046	4,288	3,793	3,306	5,112	6,351

注) 各金額は単位未満四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

(単位：百万円)



○キャッシュ・フロー計算書は、一定期間における「お金（キャッシュ）」の「流れ（フロー）」を表しています。

○損益計算書には表れない固定資産取得や借入・借入返済等も含めて、「現金」の受払の全てを表示しています。

○損益計算書だけでは読み取ることができない経営状況、経営努力、経営方針等を把握することが可能であり、民間企業においても重視されている計算書です。

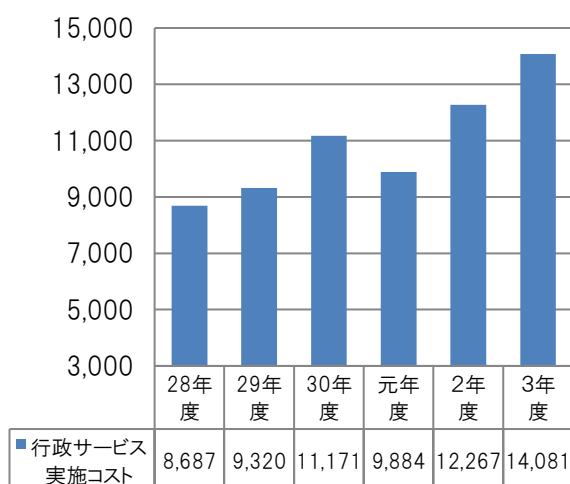
業務実施コストの推移

(単位：百万円)

	表示区分	説明	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
機会費用	国又は地方公共団体の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用	国や地方公共団体から市場価格よりも廉価で賃借している土地等（職員宿舎、課外活動敷地など）について、市場価格で賃借したならば得られたはずの金額を住民等が得られなかった利益喪失の費用として認識する。	6	519	2,279	1,251	1,363	2,360
	地方公共団体出資の機会費用等	出資金、地方公共団体から拠出された資本剰余金等について、その金額を市場で運用したならば得られたはずの金額を住民等が得られなかった利益喪失の費用として認識する。	21	14	—	2	46	78
損益外減価償却等	・損益外減価償却相当額 ・損益外減損損失相当額等	施設費等で取得した建物に係る減価償却費等は、損益計算書に費用として反映させていないが、最終的には住民等の負担となるため、業務運営費用と認識する。	1,235	1,242	1,162	1,370	1,396	1,446
	・引当外賞与増加見積額 ・引当外退職給付増加見積額	運営費交付金を財源とする教職員に係る賞与と退職金は、損益計算書に費用（引当金）として反映させないが、最終的には住民等の負担となるため業務運営費用と認識する。	806	790	356	▲ 50	230	16
業務費用	損益計算書上の費用	経常費用と臨時損失の合計	32,545	33,540	34,540	36,088	36,852	38,038
	(控除)自己収入等	自己収入（授業料、病院収益等） ※住民等の負担ではないので控除する。	▲ 25,925	▲ 26,785	▲ 27,166	▲ 28,777	▲ 27,620	▲ 27,858
行政サービス実施コスト			8,687	9,320	11,171	9,884	12,267	14,081

注) 各金額は単位未満四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

行政サービス
実施コスト



○公立大学法人は、その業務を行うために、納税者である住民等から、財産（税金・土地・建物等）を負託されています。

○このため、「行政サービス実施コスト計算書」を作成して、最終的に住民等の負担となるコストを示しています。民間企業にはない財務諸表です。

○通常、コスト情報としては損益計算書中の費用の部が挙げられますが、そこから法人の自己収入分を減じたものに、制度上費用に含まれない退職給付引当金の負担増加額や、国・地方公共団体が政策的に免除している経費を加えることにより、大学の運営に要したコスト負担額をより明らかにするものです。

○財務指標（年度間比較）

指標	指標算出方法	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	増減（前年比較）	評価	
流動比率 【貸借対照表】	流動資産÷流動負債	138.5 %	132.5 %	143.0 %	129.6 %	146.6 %	149.5 %	2.8 %	高い値が良い	↑
	流動資産	9,343 百万円	10,032 百万円	9,921 百万円	9,107 百万円	12,571 百万円	14,007 百万円	1,436 百万円		
	流動負債	6,747 百万円	7,570 百万円	6,938 百万円	7,025 百万円	8,573 百万円	9,372 百万円	799 百万円		
自己資本比率 【貸借対照表】	資本（純資産）÷（負債＋資本（純資産））	75.4 %	72.5 %	71.2 %	74.4 %	73.5 %	73.2 %	▲ 0.3 %	高い値が良い	↓
	資本（純資産）	36,288 百万円	35,711 百万円	35,534 百万円	42,210 百万円	43,367 百万円	43,526 百万円	159 百万円		
	負債	11,844 百万円	13,539 百万円	14,348 百万円	14,499 百万円	15,669 百万円	15,936 百万円	267 百万円		
	負債＋資本（純資産）	48,131 百万円	49,250 百万円	49,882 百万円	56,709 百万円	59,037 百万円	59,462 百万円	425 百万円		
経常利益比率 【損益計算書】	経常利益÷経常収益	0.4 %	0.4 %	▲ 0.7 %	▲ 1.0 %	5.1 %	2.9 %	▲ 2.2 %	高い値が良い	↓
	経常利益	125 百万円	126 百万円	▲ 242 百万円	▲ 339 百万円	1,996 百万円	1,137 百万円	▲ 859 百万円		
	経常収益	32,551 百万円	33,656 百万円	34,285 百万円	35,682 百万円	38,843 百万円	39,171 百万円	328 百万円		
人件費対業務費 【損益計算書】	人件費÷業務費	47.6 %	47.4 %	45.9 %	44.6 %	44.0 %	43.2 %	▲ 0.8 %	低い値が良い	↑
	人件費	15,215 百万円	15,646 百万円	15,615 百万円	15,817 百万円	15,956 百万円	16,127 百万円	171 百万円		
	業務費	31,945 百万円	33,017 百万円	33,988 百万円	35,464 百万円	36,291 百万円	37,348 百万円	1,057 百万円		
一般管理費対業務費 【損益計算書】	一般管理費÷業務費	1.5 %	1.5 %	1.6 %	1.6 %	1.5 %	1.8 %	0.3 %	低い値が良い	↓
	一般管理費	474 百万円	508 百万円	536 百万円	554 百万円	555 百万円	685 百万円	130 百万円		
	業務費	31,945 百万円	33,017 百万円	33,988 百万円	35,464 百万円	36,291 百万円	37,348 百万円	1,057 百万円		
外部資金比率 【損益計算書】	(受託研究収益＋受託事業等収益 ＋共同研究収益＋寄附金収益) ÷経常収益	2.8 %	3.8 %	3.4 %	3.2 %	3.0 %	2.9 %	▲ 0.1 %	高い値が良い	↓
	①受託研究収益＋受託事業等収益＋共同研究収益	371 百万円	684 百万円	492 百万円	468 百万円	601 百万円	589 百万円	▲ 12 百万円		
	②寄附金収益	542 百万円	596 百万円	662 百万円	667 百万円	579 百万円	552 百万円	▲ 27 百万円		
	経常収益	32,551 百万円	33,656 百万円	34,285 百万円	35,682 百万円	38,843 百万円	39,171 百万円	328 百万円		
外部資金比率 (科学研究費補助金を含む) 【損益計算書】 【附属明細書】	(受託研究収益＋受託事業等収益 ＋共同研究収益＋寄附金収益 ＋科学研究費補助金) ÷経常収益	3.9 %	4.9 %	4.3 %	4.2 %	4.0 %	3.9 %	▲ 0.1 %	高い値が良い	↓
	上記 ①＋②	913 百万円	1,280 百万円	1,154 百万円	1,135 百万円	1,180 百万円	1,141 百万円	▲ 39 百万円		
	科学研究費補助金	346 百万円	368 百万円	335 百万円	365 百万円	383 百万円	382 百万円	▲ 1 百万円		
	経常収益	32,551 百万円	33,656 百万円	34,285 百万円	35,682 百万円	38,843 百万円	39,171 百万円	328 百万円		
診療経費比率 【損益計算書】	診療経費÷附属病院収益	59.2 %	59.5 %	62.8 %	64.6 %	70.3 %	71.6 %	1.3 %	低い値が良い	↓
	診療経費	14,175 百万円	14,553 百万円	15,682 百万円	17,120 百万円	17,776 百万円	18,327 百万円	551 百万円		
	附属病院収益	23,943 百万円	24,440 百万円	24,972 百万円	26,509 百万円	25,274 百万円	25,598 百万円	324 百万円		
1 病床あたりの 附属病院収益 【損益計算書】	附属病院収益÷病床数	25.5 百万円	26.1 百万円	28.8 百万円	30.3 百万円	28.9 百万円	29.3 百万円	0.4 百万円	高い値が良い	↑
	附属病院収益	23,943 百万円	24,440 百万円	24,972 百万円	26,509 百万円	25,274 百万円	25,598 百万円	324 百万円		
	病床数	938 床	938 床	867 床	874 床	874 床	874 床	0 床		
学生 1 人あたりの 教育経費 【損益計算書】	教育経費÷学生数	347 千円	474 千円	449 千円	352 千円	386 千円	420 千円	34 千円	高い値が良い	↑
	教育経費	464 百万円	619 百万円	571 百万円	457 百万円	512 百万円	567 百万円	55 百万円		
	学生数	1,336 人	1,305 人	1,272 人	1,299 人	1,325 人	1,349 人	24 人		
教員 1 人あたりの 研究費 【損益計算書】	研究経費÷教員数	3,483 千円	3,079 千円	3,074 千円	3,085 千円	2,848 千円	3,519 千円	671 千円	高い値が良い	↑
	研究経費	1,334 百万円	1,207 百万円	1,242 百万円	1,237 百万円	1,139 百万円	1,390 百万円	251 百万円		
	教員数	383 人	392 人	404 人	401 人	400 人	395 人	▲ 5 人		
教育経費対 業務費比率 【損益計算書】	教育経費÷業務費	1.5 %	1.9 %	1.7 %	1.3 %	1.4 %	1.5 %	0.1 %	高い値が良い	↑
	教育経費	464 百万円	619 百万円	571 百万円	457 百万円	512 百万円	567 百万円	55 百万円		
	業務費	31,945 百万円	33,017 百万円	33,988 百万円	35,464 百万円	36,291 百万円	37,348 百万円	1,057 百万円		
研究経費対 業務費比率 【損益計算書】	研究経費÷業務費	4.2 %	3.7 %	3.6 %	3.5 %	3.1 %	3.7 %	0.6 %	高い値が良い	↑
	研究経費	1,334 百万円	1,207 百万円	1,242 百万円	1,237 百万円	1,139 百万円	1,390 百万円	251 百万円		
	業務費	31,945 百万円	33,017 百万円	33,988 百万円	35,464 百万円	36,291 百万円	37,348 百万円	1,057 百万円		

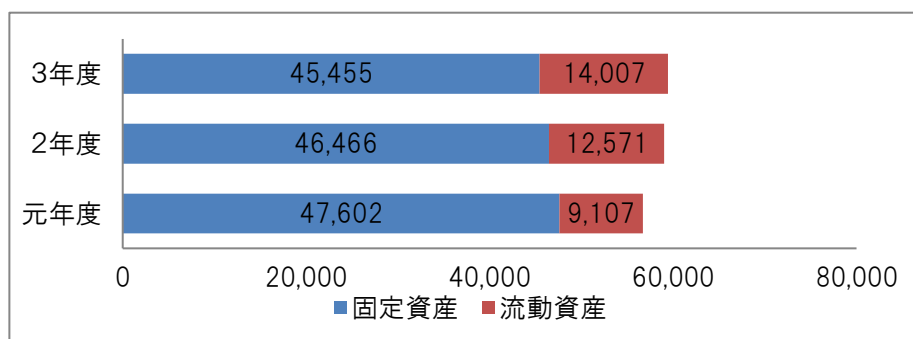
(※) 財務指標の評価は、個々の内部事情を個別に判断しなければ一概にその良否を言えないが、あくまで一般的な財務指標の高低の評価を記載した。

資料編

○貸借対照表

資産の部

59,462 百万円
対前年度
425 百万円

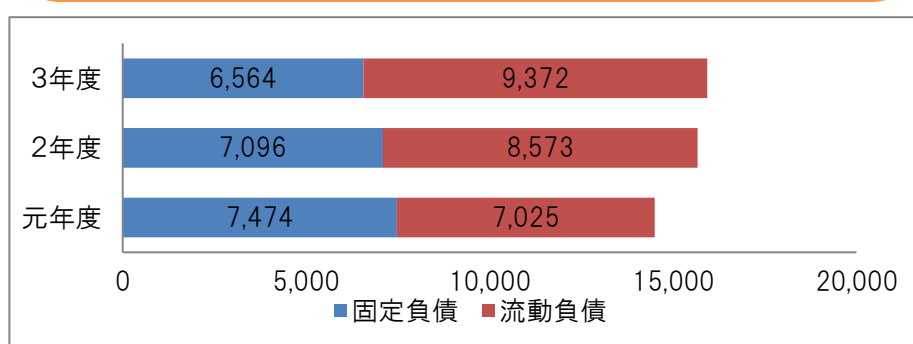


資産の約8割は、土地・建物等の固定資産により構成されており、そのほとんどは平成19年4月1日の公立大学法人化により道から承継されたものです。

令和3年度においては、固定資産が建物等の返納及び減価償却費により減少した一方、流動資産が現金及び預金の増により増加したことから、資産が増加しています。

負債の部

15,936 百万円
対前年度
267 百万円

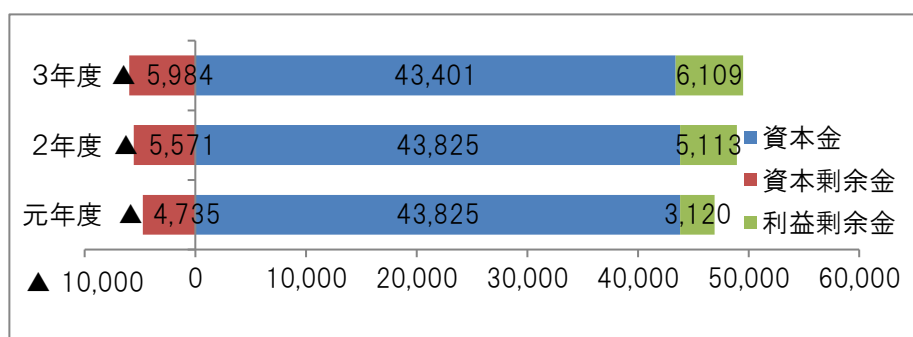


負債は、会計基準上の分類である固定・流動の別のほかに、将来的に支払義務を負う債務（借入金等）と、支払義務のない会計的負債（資産見返負債等）に分類できます。

令和3年度においては、固定負債はリース支払に伴う長期未払金の減により減少した一方、流動負債は4月以降の支払予定の未払金の増により増加したことから、負債が増加しています。

純資産の部

43,526 百万円
対前年度
158 百万円



純資産には、公立大学法人化の際に道から出資された資本金（道出資金）のほか、資本の増減取引により発生する資本剰余金と、業務の遂行上生じた利益からなる利益剰余金があります。

令和3年度においては、資本金は建物の返納により減少、資本剰余金は減価償却費により減少、利益剰余金は当期総利益の発生により増加しています。

資 産

土地	11,881 百万円	対前年度	0 百万円
建物等	26,209 百万円	対前年度	▲ 993 百万円
建設仮勘定	21 百万円	対前年度	▲ 5 百万円

本学は札幌市内に約10万㎡の敷地を有し、キャンパスのほか、臨床教育研究棟、附属病院、基礎医学研究棟、国際医学交流センター、記念ホールなどの施設を有しています。
令和3年度においては、建物等の返納及び減価償却費により、建物等が減少となっています。

工具器具備品	6,300 百万円	対前年度	▲ 27 百万円
図書	797 百万円	対前年度	▲ 36 百万円

工具器具備品は、教育・研究・診療等で使用する機械装置の取得など、適切に設備等を更新している一方、減価償却が発生していることから、減少となっています。
図書については、教育研究を行う上で基礎となる重要な資産として位置づけており、教育・研究の質の維持向上のため、図書整備経費を確保しています。

現金・預金	6,351 百万円	対前年度	1,239 百万円
-------	-----------	------	-----------

期末の現金・預金は、利益剰余金のほか、主に年度末の未払金見合いの現金や寄附金等の外部資金の繰越額等からなります。
令和3年度においては、当期総利益が発生したことにより、増加となっています。

未収入金	7,044 百万円	対前年度	218 百万円
未収学生納付金収入	1 百万円	対前年度	1 百万円
未収附属病院収入	4,668 百万円	対前年度	▲ 18 百万円
その他未収金	2,375 百万円	対前年度	236 百万円

期末の未収入金は、未収学生納付金収入、未収附属病院収入、それ以外の未収入金（受託研究等、受託事業等の未収金など）からなります。
令和3年度においては、各種補助金等の未収額の増により、その他未収金が増加となっています。

負 債

資産見返負債	3,517 百万円	対前年度	381 百万円
--------	-----------	------	---------

道から交付される運営費交付金等で購入した固定資産（償却資産）の残存価格を負債として計上したもので、公立大学法人の会計の特徴的な勘定科目です。対象資産の減価償却額と同額を収益へ振り替えることで、収入を見込むことのできない教育研究用の機器備品等の減価償却費計上による費用超過が生じない仕組みとなっています。返済義務を伴う法律上の負債とは性格が異なります。
令和3年度においては、資産の取得増に伴い、増加となっています。

借入金（固定負債）	1,427 百万円	対前年度	▲ 122 百万円
借入金（流動負債）	654 百万円	対前年度	16 百万円

道からの借入金は附属病院の医療機器等の固定資産を購入するための財源となっており、毎年度借入れを行っています（1年据え置き4年間での償還）。
なお、1年以内に返済が予定されている金額は流動負債に計上しています。

運営費交付金債務	463 百万円	対前年度	101 百万円
----------	---------	------	---------

道から交付を受けた運営費交付金は、一旦負債として計上した後、教育・研究等の実施状況に応じて収益に計上します。原則として期間の進行に伴い収益化しますが、特定の費用の発生と同時に収益化すべきものについては、運営費交付金債務として翌年度への繰越が認められております。

寄附金債務	1,298 百万円	対前年度	191 百万円
-------	-----------	------	---------

企業や地域の皆様から本学へお寄せいただいた寄附金の残額等を表します。受入時は貸借対照表の負債に計上し、寄附の目的に沿って使用した後に、費用進行基準により損益計算書の収益の部に計上しています。

未払金	6,217 百万円	対前年度	437 百万円
-----	-----------	------	---------

ほとんどが年度末の各種請求に対する支払債務であり、それらは翌年度の当初に支払いが行われます。令和3年度においては、4月以降支払いの未払金（工事、工具器具備品等）が増加となっています。

純 資 産

資本金	43,401 百万円	対前年度	▲ 424 百万円
-----	------------	------	-----------

法人化にあたって道から出資を受けた資産の総額です。
令和3年度においては、建物の返納により、減少しています。

資本剰余金	▲ 5,984 百万円	対前年度	▲ 413 百万円
-------	-------------	------	-----------

非償却資産の取得、施設費や積立金を財源とした資産の取得等に伴う増加や特定償却資産の減価償却相当額見合いの減少などを計上しています。

利益剰余金	6,109 百万円	対前年度	996 百万円
-------	-----------	------	---------

業務に関連して発生した剰余金を示します。
令和3年度は当期総利益が2,051百万円となっています。

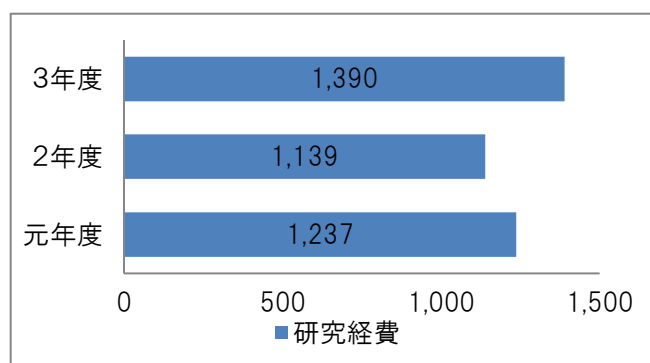
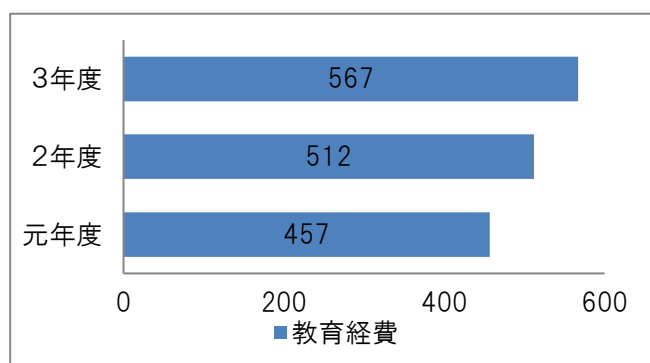
○損益計算書

経常費用

教育経費	研究経費
567 百万円 対前年度 55百万円	1,390 百万円 対前年度 251百万円

・ 入学試験、学部教育など学生等に対して行われる教育に要する経費です。奨学金（授業料等の減免額に相当）、教育環境の維持費用等が含まれています。

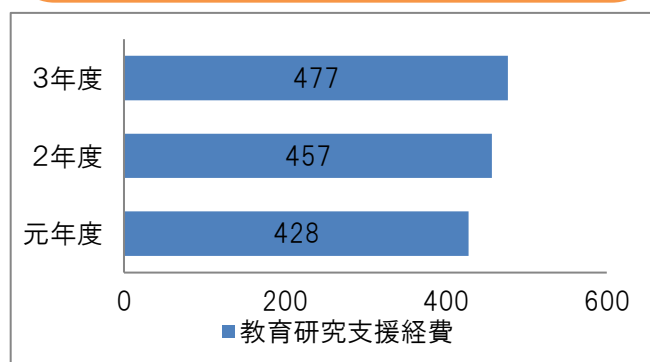
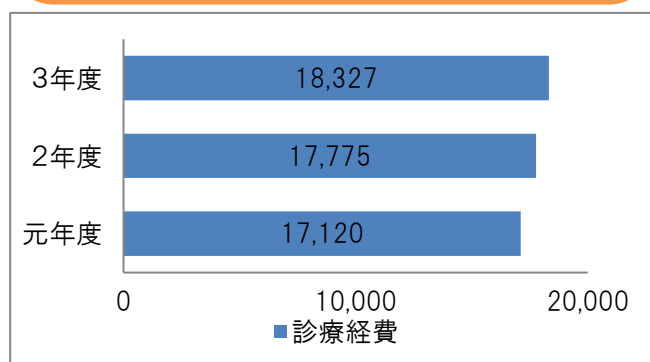
・ 各学部や研究所等における研究に要する経費です。
・ 令和3年度においては、備品費等が増加しています。



診療経費	教育研究支援経費
18,327 百万円 対前年度 552百万円	477 百万円 対前年度 20百万円

・ 附属病院における附属病院収益の獲得に要する経費です。
・ 令和3年度は医療材料費等が増加しています。

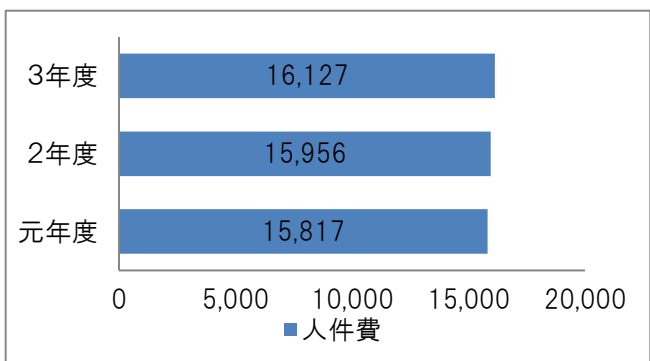
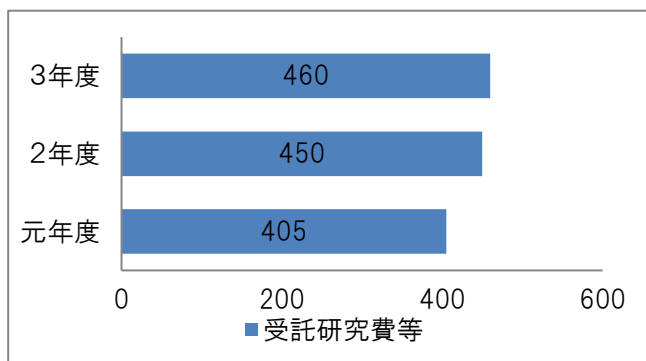
・ 附属総合情報センター等の大学全体の教育・研究の双方を支援するために設置された組織の運営に要する経費です。なお、書籍など図書取得については、資産の部の図書に含まれています。



受託研究費等	人件費
460 百万円 対前年度 10百万円	16,127 百万円 対前年度 171百万円

・受託研究、共同研究及び受託事業の実施に要する経費です。研究者個人に交付される科学研究費補助金はここには含まれません。

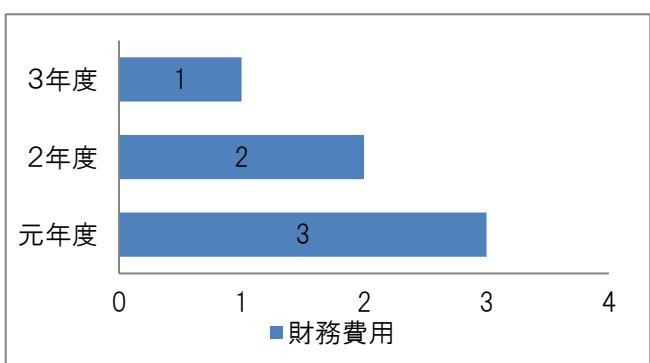
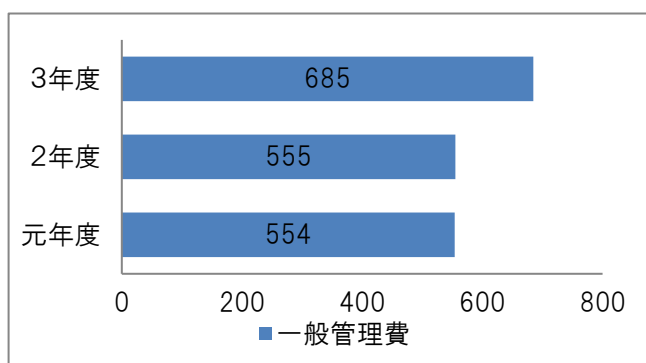
・役員への報酬・賞与・退職金及び教職員への給与・賞与・退職金が含まれます。
 ・令和3年度は新型コロナウイルス対応に伴う人員増により増加しています。



一般管理費	財務費用
685 百万円 対前年度 130百万円	1 百万円 対前年度 ▲1百万円

・大学全体の管理運営を行うための経費及び他の区分に属さない業務経費が含まれます。
 ・令和3年度は大学管理棟・教育研究棟移設に伴う経費が増加しています。

・道からの借入金に係る利息の支払いです。

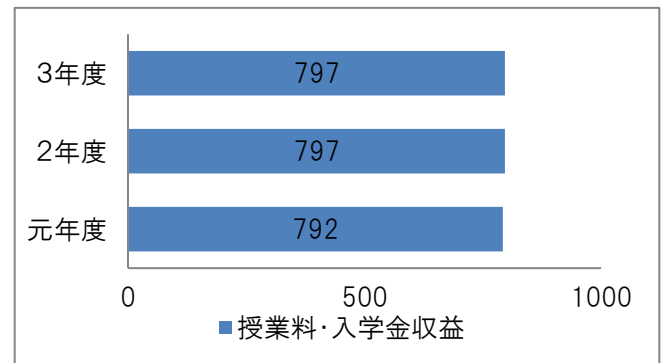
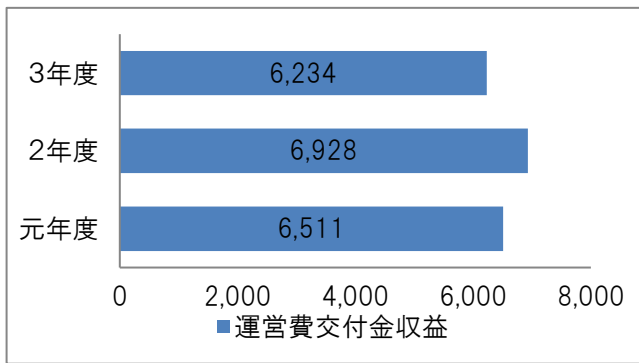


経常収益

運営費交付金収益	授業料・入学金収益
6,234 百万円 対前年度 ▲ 694百万円	797 百万円 対前年度 0百万円

- ・ 大学運営を行うために道から措置される交付金による収益です。
- ・ 令和3年度は運営費交付金の受入額が減少しています。

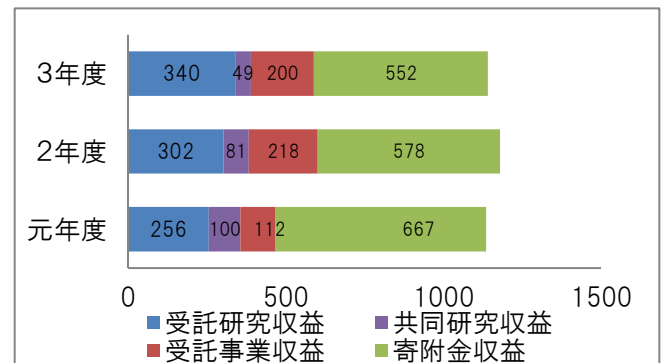
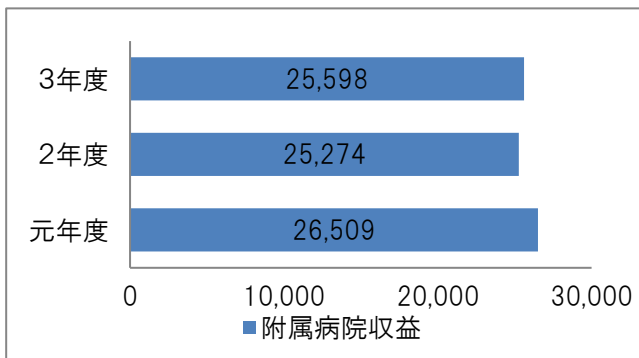
- ・ 授業料や入学料、検定料などの学生納付金による収益です。



附属病院収益	受託研究・寄附金収益
25,598 百万円 対前年度 324百万円	1,141 百万円 対前年度 ▲ 38百万円

- ・ 病院における診療による収益です。
- ・ 令和3年度は、入院診療収益が減少した一方で、外来診療収益が増加しています。

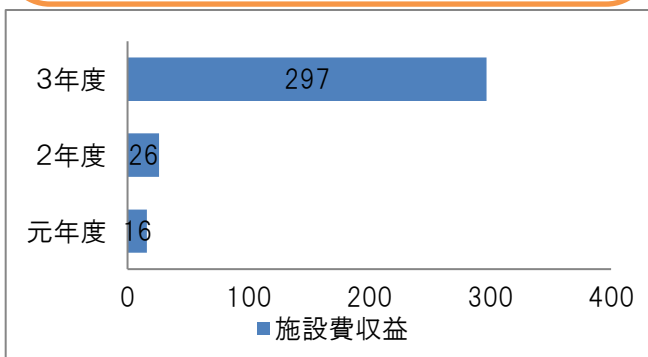
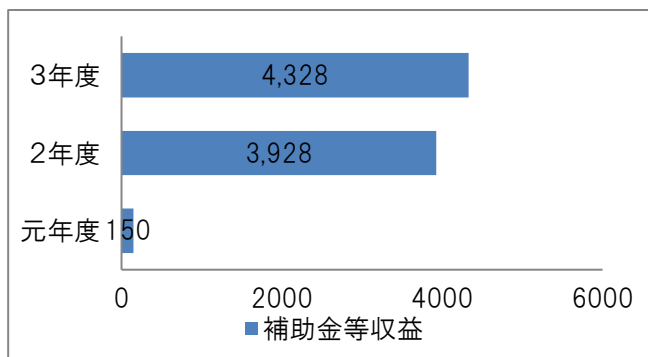
- ・ 受託研究、共同研究、受託事業、寄附金などの外部資金の受入に伴う業務実施収益です。



補助金等収益	施設費収益
4,328 百万円 対前年度 400百万円	297 百万円 対前年度 271百万円

- ・国等から交付された補助金等の受入に伴う業務実施収益です。
- ・令和3年度は、新型コロナウイルス関連の補助事業が増加しています。

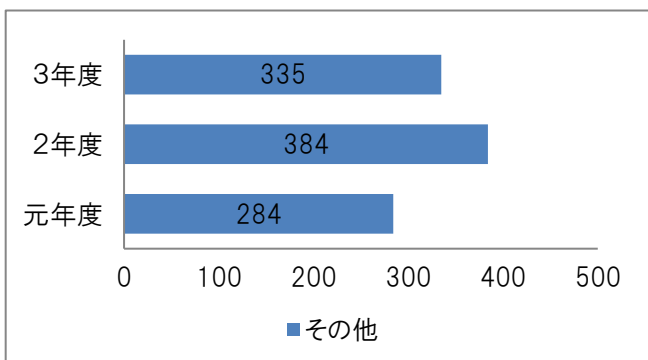
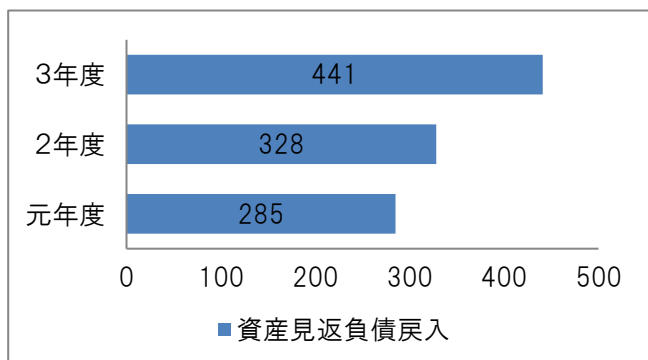
- ・施設費により措置されたもののうち、資本を構成しない修繕費、附帯事務費等の費用化された額に対応する収益です。
- ・令和3年度は、大学管理棟・教育研究棟移設に伴う経費の増に伴い、収益化額が増加しています。



資産見返負債戻入	その他
441 百万円 対前年度 113百万円	335 百万円 対前年度 ▲49百万円

- ・固定資産を取得した際に計上した資産見返負債を減価償却に対応して取り崩す、地方独立行政法人会計の特徴的な科目です。
- ・令和3年度は、過去に補助金等財源で取得した建物・工具器具備品の減価償却費の増に伴い、収益が増加しています。

- ・財産貸付料収入などの雑益が含まれます。



財務報告書 2022

令和4年9月発行

発行・編集 北海道公立大学法人札幌医科大学事務局
経営企画課財務室